

★学校教育目標★
地域とつながり豊かな心と言葉で自ら学ぶ児童の育成

★学校経営理念★
みんなが幸せになる学校
— 行きたい行かせたいつながりたい勤めたいと思える学校に —

内容項目		そのために	こんな姿に（★府南学園 ○本校）
めざす学校像	家庭・地域から信頼される学校	○地域との協働 CSとの連携（積極的に児童を地域に出す 学校への協力・協働を求める 担当以外の職員が学校運営協議会を知る等） ○保護者対応 保護者アンケート（年2回の実施） 保護者対応の研修（丁寧・寄り添う・毅然と・迅速な初期対応・複数 等がキーワード） ○学校で行っている教育活動の周知・PR 情報発信 メディアの活用 積極的な学校公開 公民館への作品展示 ○服務研修の充実	○地域や保護者、教職員が互いに名前と顔と良さを覚え合える関係づくり ○保護者アンケートでの肯定的評価 85% ○不祥事・処分事案0件
	成果をあげる学校	○基礎学力の向上 「One Up Time」や「らんさぼ」の充実 効果的な取組みの実施 知的活動の創造（例：掲示物の活用 委員会主催の〇〇大会） ○学校行事や各種活動の前に目的・意義を確認し、その達成への手立てを考える・徹底する ○各種大会・コンクールへの積極的な作品応募（学習成果をアウトプットさせる） 作品応募（特に科学研究・俳句・作文）の前には指導を行う	★府中市学力調査（第2回）で全国平均値を上回る（・市内で3位以内） ★単元末テスト平均 85 点以上・30%未満 0% ○（研究に係る内容で） ★「不思議だ調べたい」と思うことを調べる児童 65% ★外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと回答する児童 70%
めざす子供像	自ら学ぶ子	○主体的な学習の推進 自己調整学習※（見通す→行う→振り返る） ※府南学園の研究 ○学習集団づくりによって安心して考えを伝え合える教室づくり（クラス会議の導入・子連れ参観の実施等） ○授業改善 （しっかり教えて じっくり考えさせ はっきり表現させる）⇔ ことば探究科の学習内容を活用	♥「国府はこっぴどい心」 ・話せる 書ける 読める 聞ける子 ・気持ちや考えを言葉で表現する子
	心のあたたかい子	○自己肯定感の向上 体験活動や道徳授業の充実（活動を仕組む） ○たてわり班活動の導入・充実 ○自治的活動・読書活動等の充実 児童朝会や学級活動、委員会活動の充実 読書の成果を見える化等する（掲示や大会の開催等）	
	元気な子	○新体力テストの数値の向上 ○行事等を通して、目標を設定し達成に向けて、個・集団ともに頑張る力を付ける 運動会・新体力テスト・アスレチック大会等への取組み ○基本的生活習慣の定着・改善（あいさつ 掃除）	
めざす教職員	絶えず成長しようとする教職員	○本校研究理論の理解と実践 校内研修の充実 研修の紹介 ○授業改善・自己研鑽 ← 業務改善による子供と向き合う時間の確保（日程の見直し 授業時数の軽減 積極的な業務改善 外部人材の導入等）	○教職員アンケートでの否定的回答 0% ○掃除・挨拶など、自らが手本を示して児童に指導できる教職員 ○小中一貫教育・CSの良さが語れる教職員
	児童を認め励まし褒める教職員	○あたたかい学級経営 学習集団づくりの研修 研修資料の共有 服務研修（言葉づかい 服装 社会生活等） ○お互いを支え合う教職員集団・風通しの良い職員室 定時退校日の設定	
	小中一貫・CSの良さを生かす教職員	○一人一人の子供の将来（15歳の姿）を想定し、現在付けるべき力を責任もって付ける ⇔ 9年間を想像する長い目・複数で育てる意識を持つ ○地域を知り、地域との協働を企画	